

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公開番号】特開2006-294167(P2006-294167A)
 【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)
 【年通号数】公開・登録公報2006-042
 【出願番号】特願2005-115812(P2005-115812)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 23/00 (2006.01)

G 1 1 B 7/135 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 23/00 A

G 1 1 B 7/135 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成20年3月19日(2008.3.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

フレキシブル光ディスク載置面と、光ディスクドライブのスピンデルに嵌る中心開口とを備えた基板からなり、光ディスクドライブのスピンデルに固定されたフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装置であって、

前記基板の表面、裏面及び外側面に導電性コートが形成され、光ディスクドライブのスピンデルに固定されたとき、前記基板の表面、裏面及び外側面に形成された導電性コートが前記スピンデルと電氣的に接続されることを特徴とするフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装置

【請求項 2】

請求項 1 記載のフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装置において、前記基板は、当該基板と、当該基板の前記フレキシブル光ディスク載置面に載置されたフレキシブル光ディスクとからなる構造物が、光ディスクドライブで使用される光ディスクと光学的に同等となる厚さを有することを特徴とするフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載のフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装置において、前記基板の厚さは 0.4～1.1 mmであることを特徴とするフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装置。

【請求項 4】

請求項 1、2 又は 3 記載のフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装置において、前記導電性コートは導電性フィラーを含む帯電防止膜からなり、当該帯電防止膜は光ディスクドライブのクランパーによって押えられる領域を除いて形成されていることを特徴とするフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装置。

【請求項 5】

請求項 1、2 又は 3 記載のフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装置において、前記導電性コートはスパッタによって形成された導電性薄膜であり、前記基板の全面に形成されていることを特徴とするフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装

置。

【請求項 6】

請求項 5 記載のフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装置において、前記導電性薄膜は膜厚が 1 nm～5 nm の Si, Al, Ag, Pd またはこれらの元素からなる合金薄膜からなることを特徴とするフレキシブル光ディスク用姿勢制御板を用いた駆動装置。